

2018年新春号

西の京・都和のはな便り

寒中お見舞い申し上げます

いつも介護老人保健施設西の京をご利用くださり、ありがとうございます。
寒い中にも、日差しにも春を感じる季節になりました。

通所リハビリ便り〜秋冬

←今年の元旦のお食事です。
御屠蘇（おとそ）はありませ
んが、お赤飯や栗きんとん、
ぶり等おめでたい料理をお
出しました。



→十一月はクッキングレク。
カボチャを裏ごしし、生地に
混ぜ、ふっくら優しい甘さに
なりました。

番外編です。 ↓

十月に開催された洛中・洛西健康まつり。西の京・栄養課監修の「玉こんにゃく」を出店、通所リハの利用者様も立ち寄りして下さいました。



→九月は、狂言やコーラス、パ
ントマイムなどの芸術の秋を
楽しみました



「おむつフitter」を育成しています

「おむつフitter」とは、排泄の困りごとに対して、おむつを含む排泄用具はもとより、医療や住環境、食事など幅広い視点からアドバイスできる人です。

西の京では今年度、巻田・土田の二人の介護福祉士が講習を受講し、3級おむつフitterの資格を取得しました。

講習では、排泄のメカニズムや、排泄がその人の生活に及ぼす影響等を学び、演習では実際おむつを装着しながら排尿し、その装着感や不快感を体験するものでした。

その利用者様に合ったおむつを選び正しく使うことは、尿もれがなくなることによって気持ちが前向きになったり、動きやすくなることで生活が活性化したりと、



生活全体の改善につながります。

学んだことを、利用者様のケアに生かしていきたいと思えます。

「おむつの種類が多くて使い方がわからない」「外出したいけどトイレが心配」「臭いや漏れ、蒸れが気になる」等々おトイレの心配事、ご相談ください。

(O&T)

一次救急処置 (BLS) 研修開催



12月に、京都民医連中央病院の救急看護・認定看護師を講師に招き、一次救命処置の訓練を実施しました。

心肺停止時に行う胸骨圧迫の練習、AEDの使い方、窒息時の対応等、救急隊に引き継ぐまでの救命処置を訓練専用の人形を使って32名の職員が実践。

実際の場面に遭遇した際にも対応できるよう、毎年訓練を行っています。(T)

認知症介護実践リーダー研修修了しました

この度、小野介護福祉士が、4月間に及ぶ研修を修了、認知症の最新の知識や、スタッフが同じ方向を向いてケアができるよう、チームマネジメント手法等を学びました。

日々接する利用者様への関わりを生かせるよう、頑張ります。



「グループホーム」って どんなところ? その2



お部屋を往診中
の場面です→



前号に引き続き、グループホームを紹介
します。今回は「入居者様の健康管理に
ついて」です。

グループホームは、制度上「施設」でなく
「家」になり、医師や看護師は常駐して
いません。そのため、スタッフは毎日の
バイタル測定や常日頃より入居者様の行
動や言動、表情や食事摂取量等小さな変
化に目を配っています。

週1回、提携する訪問看護ステーション
より看護師が来所、隔週では、提携する
診療所より医師が往診し、医療管理を行
っています。

また、入居者様も楽しみにされている「食
事」は、グループホーム内のキッチンで
作っています。

献立は入居者様の好みだけでなく、便通

が良くなるために何を摂取すれば良いの
か? 血圧が高くなるようにするには
どうすれば良いのか等考えつつ、提供させ
てもらっています。(W)

西の京にワンちゃんがやってきた

11月に、NPO「アン
ビシャス」がワンちゃん
六頭を連れて訪問。
はじめはこわごわだった
利用者様も、最後には積
極的に抱っこされ、カメ
ラを向けると普段見られ
ないような笑顔を見せて
くださいました(K)。



介護ウェブ宣伝 at 四条河原町



1月11日は介護の日、その翌日に四条
河原町の高島屋の前で、「介護ウェブ
2017秋」宣伝行動を行いました。

当日は気温も低く天候も曇りがちで
したが、熱い思いをもった京都民医連の
介護従事者約70名が勢ぞろい。

9色のWe ♥ KAIGOのTシャツを
身に纏い、それぞれが日々抱えている思
いをマイクを握り、通りがかりの方に話

しかけました。

職員のMさんが異国の方と絆を深め
たり、当法人の理事長が署名の呼びかけ
を熱心に行ったりと、介護への熱い思い
を共有できました。

皆様よりいただいた署名は、12月7
日に、西の京から真鍋介護福祉士が国会
に届け、提出しました。(N)

